
台湾にインターネット接続サービスを手掛ける合併会社を設立

1996年6月13日

株式会社インターネットイニシアティブは、株式会社アジア・インターネット・ホールディング(本社:東京、社長:鈴木幸一 以下"AIH")、伊藤忠商事株式会社(本社:東京、社長:室伏稔 以下"伊藤忠")、住友商事株式会社(本社:東京、社長:秋山富一 以下"住商)及び台湾最大の情報処理会社であるSYSTEX社(本社:台北市、社長:高照訓 以下"SYSTEX")、台湾のネットワーク関連機器メーカーであるAccton社(本社:新竹市、社長:杜憶民 以下"Accton")との共同出資により、台湾にインターネット接続サービスおよび関連システムの構築を行う合併会社を設立します。(1996年10月設立目処)

新会社の名称は、環網股分有限公司(英語社名は、AIH Taiwan)で、会長、社長にはそれぞれIIJの深瀬弘恭取締役会長、鈴木幸一代表取締役社長が就任する予定です。

新会社は、まずAIH東京と台北に設立するネットワークオペレーションセンター(NOC)を高速専用回線(T1回線)で結び、同時に新竹市に設立するNOCへ台北から接続します。1997年には台湾国内の約30社の既存接続業者の内、10社程度の有力業者と業務提携、大手企業約15社との接続を見込んでおり、同年中に台湾全域をカバーするネットワークを構築する予定です。
